

(倫理様式 2-2-1)

施設利用者の適切な薬物療法に向けた薬剤師の取り組み ～ 多剤併用患者への減薬に貢献した症例 ～

1. 研究の対象

2019年4月～2020年3月に薬剤回診を行ったアルボース利用者

2. 研究目的・方法

高齢者に対する多剤併用は、有害事象の発現、飲み忘れや飲み間違いの発生増加、また、薬剤費の増大へつながり、この問題への対応が求められています。そこでアルボースでは2019年4月より利用者のポリファーマシーを減らす目的で薬剤回診を開始しました。利用者の多剤併用に関して、多職種で減薬に向けた取り組みを行い、その中で薬剤師は医師へ処方提案を行っています。本研究の目的は、その取り組みの中で薬剤師の処方提案がどのように貢献できるかを研究することです。さらにそのデータを活用し、今後も高齢者における医薬品の適正使用を目指します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、服用歴、副作用等の発生状況、等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒372-0006 群馬県伊勢崎市太田町 366

公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院

0270-24-3355

研究責任者：薬剤部 関口 浩之